

TOKYO 2020 開催まで1年

東京2020オリンピック・パラリンピック開催まであと一年となり、さまざまなイベントが開かれています。7/24日にはメダルデザインが発表されました。「都市鉱山から作る! みんなのメダルプロジェクト」として使用済みの携帯電話や小型家電等から回収された金属を集めて製作されており、2017年4月から2019年3月までの2年間で、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルに必要な金属量が100%回収されたとのことです。

東京2020大会では、「Be better, together / より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとし、持続可能な社会の実現に向け、この様な課題解決のモデルが考えられています。

東京 2020 大会の持続可能性コンセプト

Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

スムーズBiz

Smooth Biz

また東京都は大会期間中の交通混雑緩和を把握え、さまざまな取り組みを総合的にテストする「スムーズBiz推進期間」(2019.7/24~9/6)を設けています。「スムーズBiz」は、交通量の抑制や分散に向けた交通需要マネジメント(TDM)や、ICTを活用したテレワーク、通勤時間をずらす時差Bizなどを推進して、大会期間中だけでなく大会のレガシーとして新しいワークスタイルや企業活動のモデルを社会に定着させ、人々がいきいきと働き、活躍できる社会の実現を目指すものです。

2019年度 PD講座

今年度のPD講座は例年通りの認定コース形式ではなく、単発講義が企画されています。本社では「下版」「製本」「接着剤」「原価」の4講義が予定されていますが、7月24日に「下版」の講義が行われ12名が参加しました。

講義では下版時の注意事項を、実際にあった事例と共に説明されました。後工程に間違いなく、より分かり易く伝えていくことでミスが減り、また作業効率も上がり利益に繋がっていきます。各自改めて下版について考えてみましょう。

島田PCにおいても「インキ」(東洋インキ)、「シルク印刷」(昭和印刷)、「接着剤」(石塚産業)の講義が行われています。



JS環境委員会短信

毎年夏になると、熱中症による救急搬送者や死亡者のニュースが取り上げられますが、2018年は酷暑に伴い熱中症による救急搬送者が9万5000人、死亡者数が1500人を超えるなど、多くの方が熱中症になっています。

関東甲信地方も7月29日に「梅雨明けしたとみられる」と気象庁より発表されました。平年より8日、昨年より30日遅い梅雨明けとのこと。今後は最低気温が25度を下回らない日がほとんどで、寝苦しい夜も続く予想されます。夜間の熱中症にも注意しましょう。

本社 環境委員会メンバー 2019

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	スムーズBiz推進期間				20
21	チャレンジウィーク (17~18)、コアB (17)				27	
28	集中取組期間① (7/22~8/2)				3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	集中取組期間② (8/19~8/30)				24	
25					31	
9/1	2	3	4	5	6	7

(参考)2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23		
オリンピック期間 (7/24~8/9)						
10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22
23	24	パラリンピック期間 (8/25~9/6)				
7	8	9	10	11	12	

